

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ゆめきら			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～	令和年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画に沿った支援が行うことができている (個別訓練と集団訓練を組み合わせる療育を行うことができている)	・毎日、個別訓練を取り入れ、個々に合った訓練や学習支援を行うことができている ・年齢や特性、発達段階に合った支援が行えている ・活動の際は、個別支援計画の作成を行っている	・日々の訓練の様子や課題について気になる事を話し合い、本人に合った支援のアプローチを探っていく ・支援者・保護者共に子どもにも支援の内容を共有し、目標を明確にすることで達成でき、成功体験を増やしていく ・活動では、個別訓練と集団を意識した目標を設定し、その程度目標シートの作成を行っていく
2	・保護者との信頼関係の構築ができおり、子どもの姿を共有することができる	・送迎時には、日々の様子や支援方法についてお伝えし、こまめな情報共有を図るようにしている ・保護者様の連絡にすぐに応じれる環境を整えている ・相談や課題があった時は、対面で話す機会を設け、相談支援事業所との連携を図っている	・送迎の時や電話にて話した事や困り感について、すぐに情報共有を行い、チームで保護者や家庭をサポートできる体制を整えていく ・様々な研修を受講し、障害児や保護者支援について学ぶ機会を多く設ける ・家族会の案内などを行っていく

3	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出しやすく、話し合いの場を設けることができおり、支援の統一化を図ることができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの際には、皆が意見を出せる時間を作って意見交換の場を設けている ・支援計画が変わる度に、個人の支援計画のファイルにまとめ、いつでも見返せるようにしている ・毎日、個別の訓練と担当職員を決め、内容の共有や支援後の姿についての共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の統一化を図れるように、支援の方法や気になったことを話す場を設け、本人に合った支援方法について情報提供を行っていく ・職員の困り感や悩みについて聞く機会を設け、一人で抱え込まずチームの強みを活かした支援を行えるようにする
---	---	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制に偏りがある ・他事業所との兼務職員もいる為、ゆめきらに勤務する日が少なく支援する上で困り感になることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・兼務の職員が多く、専属職員が少ない ・ゆめきらと他事業所を兼務している為、日によって関わる職員が違う ・徐々に会う児童がおり、訓練の内容や方法が分からない場面がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員は慣れるまでは、一つの事業所に継続して勤務できる体制を整えている ・支援前のミーティングの際に、子どもの様子や支援方法、課題について意見を出し合う場を設け、情報共有を行っている
2	<ul style="list-style-type: none"> ・場所が狭い (室内環境が狭い、個室が少ない 体を動かす場所が狭い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地が狭い ・敷地範囲内で体を動かす場所がない ・個室が少ない為、クールダウンスペースが少なく利用児同士のトラブルや不安に繋がる場合もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園に行き、体を動かす機会を多く設けている ・事務所やパーテーションで個室空間を作り、環境整理を行っている ・車庫を活用し、体を動かす場所を設けている
3	<ul style="list-style-type: none"> ・8校の学校受け入れにより、送迎に人員をとられ、児童と関わる時間が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・多数の学校からの受け入れを行っており、送迎が煩雑な為、送迎に人員をとられてしまう ・日によって送迎や時間が遅い、イレギュラーな事が多い ・利用児の様子を知る事ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な人員の配置を行う ・連絡体制を整え、情報共有を行えるツールを用いて、すぐに連携をとれるようにしている ・送迎職員と支援に配置できる職員を表にし支援につける職員で訓練を行うようにしている